

<教育サポート報告>

赤松 周平

【サポートの現場】

江別市 野幌小学校（特認校）6年1クラス約20人

平成16年11月8日（月）10：30～12：10

- ・畑を借りての土のサンプリング
- ・教室授業：PPTによる「野幌の地層」に関する話

担 当：赤松 周平

サ ポ ー ト：五十嵐 敏彦

機 材 提 供：池田 晃一・佐藤 厚子

【サポートの様子・感想】

すっかり分科会の「おはこ」となった泥炭掘りの体験授業と教室での「地層」の授業です。

ご存知の方も多いと思いますが、昨年、五十嵐座長のお子さんが通っていた野幌小学校で同じ授業を行って好評だったので、今年も是非にというリクエストがあり、サポートが実現しました。

五十嵐座長から声を掛けていただき、初めて講師を担当することになったものの、子供達の反応がどんなものか、実は始まるまで不安が一杯でした。

泥炭を掘り始めると、子供達は大喜びで掘りあがった土に群がり、触れていました。泥炭の中に木片があると興味を示し、泥炭の下の青い粘土にも驚いた様子でした。

こんなに土を掘ることが面白いものなのかと、自分自身が感動しました。普段当たり前の様に掘った土（地層）を見ている自分にとって、子供達の反応は新鮮であり、改めて土の魅力を実感させられました。



写真1 畑での泥炭掘りの様子

室内の授業は、パワーポイントを使って野幌の地層の話をしました。実は、前日自分の息子（小5）にリハーサルをしたところ「話がしつこい」とか「眠くなってしまう」等散々な評判だったので、野外での泥炭掘り以上に心配でした。

話の前の土掘りで盛り上がっていたこともあり、またとても素直な良い子供達だったのでしょう。思った以上にこちらの問いかけにも良く反応してくれたと感じました。学校があるところ（丘陵地）と泥炭を掘った畑（低地）では土地の硬さが違うこと、今日掘った泥炭は 3000 年ぐらい前にたまったものだと言うことなどに興味を持って話を聞いてくれたことをとても嬉しく思いました。



写真 2 教室での授業の様子

また、後日お礼の手紙もいただき、その中に「なぜ掘った粘土は青かったの。」といった質問もあり、地層に興味を持ってくれた子がいてくれたこともまた嬉しく思いました。

なお、当日は五十嵐さんの強力なサポートにより、不慣れな私も無事に授業を終えられたことを最後に加えておきます。

以上